

1 3 ごみの減量化・再資源化の推進

市では、ごみの排出抑制を図りながら再資源化を進める資源循環型社会の構築に取り組んでいる。ごみの排出量については、広報かとり「ごみのこと考える」により紙類の分別の徹底を呼びかけるとともに、様々な施策の推進により、減量化が図れている。

また、リサイクル率についても香取市循環型社会形成推進地域計画を策定し、平成25年度に佐原清掃事務所内をリサイクル拠点施設として整備し、枝木のチップ化、発泡スチロールの減容化など、資源物活用を推進している。

1 3-1 回収協力奨励金事業

① ペットボトルキャップ回収協力奨励金

実施団体（小中学校など実施団体 23 団体）が行うペットボトルキャップ、及び学校給食用牛乳パックの回収活動に対し、奨励金を交付し子供たちへ環境問題の啓発とごみの減量化を推進している。

—令和2年度実績

ペットボトルキャップ

回収量：4,335 kg 売却金：47,685 円 奨励金：260,728 円

牛乳パック

申請重量：8,035 kg 奨励金：376,900 円

② 再資源化物回収協力奨励金

実施団体（PTA・町内会など実施団体 30 団体）が行う再資源化物回収活動に対し、奨励金を交付しごみの減量化と再資源化を推進している。

—令和2年度実績

回収量：500,948 Kg 奨励金金額：2,053,448 円

（紙類 472,353Kg 繊維類 28,595Kg 生ビン 12,414 本）

1 3-2 資源物の拠点回収

① インクカートリッジ里帰りプロジェクトに参加

インクカートリッジの回収から再資源化までのリサイクル活動を推進するプリンタメーカー4社共同プロジェクトとして、全国の郵便局と参加した自治体施設に回収ボックスを設置している。（市内7箇所に設置）

—令和2年度回収実績：100.6 kg

② 使用済小型家電

新たなりサイクルの取り組みとして「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」（小型家電リサイクル法）に基づき、携帯電話などの使用済小型家電リサイクル事業を開始して、小型家電に含まれる金、銅などの希少金属のリサイクルに取り組んでいる。

—令和2年度回収実績：336 kg

③ 佐原清掃事務所の拠点回収

—令和2年度実績：ダンボール（32,970kg） 発泡スチロール（3,470kg）
古紙類（29,205kg） 衣類（7,405kg） 飲料用ペットボトル（1,590kg）

13-3 バイオマス関連施策の推進

① 木質バイオマス（剪定枝）の再資源化

平成25年4月より家庭や公共施設から発生した剪定枝を、佐原清掃事務所で破砕チップ化し、マルチング材や堆肥の原料として再資源化する事業を開始。チップは市民に無料配布し資源循環を推進している。

—令和2年度実績：搬入 447,446Kg チップ配布 247,425Kg

② 廃食用油回収モデル事業

平成25年5月より家庭や公共施設（保育所）から発生する廃食用油を回収しBDF（バイオディーゼル燃料）として再利用する事業を開始した。廃棄物の減量化及び再資源化、地球温暖化防止対策の一環として取り組んでいる。

—令和2年度回収実績：2,715 リットル

③ 生ごみ（学校給食残さ）の再資源化事業

平成25年7月より学校給食センターから発生した調理残さや食べ残しをバイオ式コンポストで堆肥化する事業を開始した。堆肥は市民に無料配布し資源循環を推進している。

—令和2年度実績：搬入 12,560kg 堆肥配布 7,965kg

13-4 エコショップ認定制度

ごみの減量化及びリサイクルを積極的に取り組む市内の小売店を香取市エコショップとして認定し、その取り組みを広く市民に周知することにより、消費者と事業者及び行政が一体となり環境保全、ごみの減量化及びリサイクルを推進する。

—登録店舗数：2店舗 【セイミヤ玉造店、道の駅くりもと紅小町の郷】

13-5 こども服譲渡会

平成26年度より子供服のリユースを推進するため、ふるさとフェスタ開催時に無料で譲渡会を開催している。